

新入社員が会社をすぐに辞めないようにするための心理学

新入社員の気持ちを考える

ようやく採用した新入社員がすぐに辞めてしまった。新入社員の離職率の高さは、中小企業経営者が抱える深刻な悩みの1つです。新入社員を辞めさせないための特効薬はありませんが、経営者としてできることはあります。

まず前提として「人を育てる」という経営者の強い気持ちが不可欠です。社会経験の少ない新入社員にとっては、「**自分が成長している**」「**成長する機会を与えてもらっている**」と感じていることが大切なのです。

ですから、経営者は不安な気持ちの中で、「自分の将来は大丈夫か」と考えている新人たちに、「この会社なら大丈夫」「この会社なら自分も成長し、貢献できる」と感じてもらう努力を行う必要があります。この点において、新入社員側でコントロールできることはほとんどなく、会社側の努力や姿勢が問われるのです。もちろん、先輩や上司からのサポートが必要なことは言うまでもありませんが、これも経営のスタンスや社風にかかっている部分が少なくないのです。

そして、今となっては今年の新人については遅すぎますが、来年度の採用も始まっているので、今のうちにきちんと認識すべきことがあります。それは、採用の時点では、自社にあったレベルの人材、社風に合った人材を採用することが重要です。

ミスマッチ採用は会社にとっても、新入社員にとっても不幸です。それを防ぐためにインターン制度をつくるなどして、内定を出す前に会社を体験してもらう機会を設けるといいでしょう。

新入社員が会社を辞めるのは仕事が見ついからではない

入社後は新入社員の1人ひとりに先輩社員や直属上司が指導・相談役としてついて、仕事に対する不安や日常生活の心配事を聞いてアドバイスを行う「ブラザー・シスター制度」などによるきめ細かいフォローが必要です。

先輩社員から、毎週その簡単な報告書を出してもらっている会社もあります。また、会長や社長がときどき新入社員に意識的に声がけをしている会社もあります。新入社員の場合、ブラック企業でない限り、仕事が見ついて会社を辞めることはほとんどありません。それよりも、仕事や職場に慣れないことによる疎外感で辞めることの方が多いのです。

ですから、疎外感ではなく、仲間意識や家族意識を感じさせることが大切です。これは大企業より、中小企業の方がやりやすいと思います。甘やかすことは良くありませんが、大切にしていると感じさせるのです。

新入社員は社内では疎外感を抱いても、社外では他社へ就職した友人とSNSなどでつながり、頻繁に情報交換をして自社と他社を比較しています。経営者や人事担当者は、このことを知っておくべきでしょう。しかし新入社員が気にしていることは待遇だけではなく、**自分が周囲の人にどれだけ気にかけてもらっているかが重要です**。自分の居場所や存在感があるかどうかです。

心理学では、人の心理に与える影響を「ストローク」と呼んでいます。褒められたり励まされたりすれば人はプラスのストローク、怒られたりけなされたりすればマイナスのストロークを得ます。そして何の反応も得られないのは、ストロークがない状態です。人は「プラス、マイナス、なし」の順番で、ここで説明しているストロークを好みます。「プラス、なし、マイナス」の順番ではありません。いたずらっ子がわざと怒られるようなことを仕出かすのは、「褒められないのなら、せめて怒られたい」という気持ちの表れです。人は周囲の人の無反応に耐えられないのです。

働く上で最もいいプラスのストロークは、お客さまに喜んでもらうこと、働く仲間に喜んでもらうことによって得られますが、経験の浅い新入社員がお客さまや同僚に喜んでもらえるような成果を出すことは難しいので、働く仲間が支えてあげる仕組みをつくるといいでしょう。

東北から元気発進！！ワクワク"夢実現"プロジェクト



仕事と生活調和推進企業として
ワーク・ライフ・バランスの実現を応援します

また自分の将来が見えていないと不安を感じるので、新入研修時などにキャリアプランを示すことが重要です。特に新入社員は当初現場に配属されることが多いので、キャリアプランを示して、現場での仕事を終えた後、次にどのような仕事か、将来の自分はどのような仕事をする可能性があるのかを知らせておくことが大切です。

目の前のことを一生懸命やる

新入社員にはチャンスが訪れる

新入社員に限らず若いうちは、自分のことしか考えられないものです。でも、そこで相手がどう思うか考えれば、自分がこれからどう行動すればいいのかが理解できるはずですよ。

「相手の立場になって考える」ということは、新入社員のときだけでなく、その後もずっと役に立つ姿勢であることは間違いありません。お客さま、同僚、社会の視点に身を置けるかどうか、ある意味、その人の成功を決めます。

まずは目の前のことを一生懸命やって、「石の上にも三年」と我慢をして、そこから何かをつかむ努力をした方が、長い人生には有益です。

Diamond Online 小宮一慶の週末経営塾より

新聞を見てもテレビをつけても「新型コロナウイルス」の話題ばかりで、ストレスがたまってきますね。在宅ワークでさらにストレスがたまっている方も多いと思います。

感染を予防するために小まめに手を洗ったり、アルコール噴射したり、感染者が増えていないか確認することは大切です。しかし 24 時間、四六時中、コロナのことを考えてびりびりしないために、普段はできない家の片付けや、趣味に時間を費やしたりと折角なので有効に時間を使いましょう。

イライラした時の対処法



・心から食べたいものを食べる

家の中で楽しめる娯楽といえば、食事ですね。とくに在宅勤務をしている人にとって、朝・昼・夜の食事の時間はメリハリをつける貴重なチャンス。自分へご褒美もかねて、できるだけ「心から食べたい」と思うものを食べましょう。心を満足させてあげれば、食べ過ぎ防止にも繋がります。いつもなら「ちょっと贅沢かな」と思うコーヒーや紅茶・お菓子などを用意して、特別なティータイムを楽しむのも良いですね。

・入浴剤を使ってゆっくりお風呂に入る

普段はシャワー派の人も、できればバスタブを使ってゆっくりお湯に入ってみましょう。緊張が続く毎日では、知らず知らず全身に力が入り、凝り固まってしまうがち。ゆっくりお風呂に入って身も心もリラックスすれば夜はぐっすり眠れて朝もスッキリ起きられます。疲れやイライラの解消には「40℃くらいのぬるめのお湯に 15～30 分」が目安です。好きな香の入浴剤を入れれば、気分も上がりますね。



小さな工夫の積み重ねが、いつもご機嫌な自分をつくるコツです。このような状況がいつまで続くか先が見えませんが、上手くストレスを解消し、この苦難を乗り越えましょう！

東北から元気発進！！ワクワク"夢実現"プロジェクト



仕事と生活調和推進企業として
ワーク・ライフ・バランスの実現を応援します